

千葉県行財政改革指針

～ 時代の変化に対応した
県民視点の県政を実現 ～

令和4年（2022年）3月

千葉県

※所属名については、令和4年4月1日現在のものです。

はじめに

新型コロナウイルス感染症を契機とした「新たな日常」への対応をはじめ、人口減少・少子高齢化の進行やデジタル技術の急速な進展など、本県を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しており、これに伴い、行政課題や県民ニーズは複雑・多様化しています。

本県の財政状況に目を向けますと、長引く感染症により県税収入への影響が懸念される一方、社会保障費など義務的経費の増加に加え、公共施設等の老朽化対策や防災・減災対策などにも取り組んでいかなければならないことから、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

こうした中、時代の変化に対応し、将来にわたり質の高い行政サービスを提供していくためには、人材や組織体制、施設等の資産、税財源、情報など、県庁が持つ資源を効率的・効果的に活用しながら、全ての職員が目的・成果を意識して業務に取り組む「行財政経営」への転換が必要です。

この度、「千葉県行財政改革指針」を策定し、本県が考える「行財政経営」や「経営的な考え方」を示すとともに、行財政改革における理念や10年後に目指すべき県庁の姿、それを実現するための方策を取りまとめました。

さらに、「千葉県行財政改革行動計画」では、具体的な取組項目を定め、毎年度、取組状況を確認・検証することで、改革の着実な推進を図っていくこととしました。

この指針・計画を全職員が共有し、組織として「行財政経営」への変革に取り組むことで、目指すべき県庁の姿を実現し、県民サービスの一層の向上に努めてまいります。

千葉県知事

熊谷俊人

目次

I 新たな改革の必要性	1
I-1 社会経済情勢の変化への対応	1
I-2 厳しい財政状況への対応	2
II 行財政改革計画の策定	5
II-1 総合計画を下支えする行財政改革計画	5
II-2 本県が考える「行財政経営」と「経営的な考え方」	6
II-3 行財政改革計画の構成	7
III 行財政改革の基本的な考え方	8
III-1 理念（基本的な考え方や価値観）	8
III-2 方針（目指す県庁の姿）	8
III-3 戦略（具現化するための方策）	9